第２章　基本構想

第２章　基本構想

１．メインコンセプト

基礎調査における本市の状況や関連団体への意向調査などで抽出された意見から、観光誘客施設として多様な経済効果への期待、スポーツ興行を主とした他施設との差別化、さらにエネルギーコスト縮減や効率的な運営により事業性を担保する等、本アリーナは周辺地域とともに活力ある未来像を描くべきであり、本基本構想のメインコンセプトおよび基本方針を下のように定める。

＜メインコンセプト＞

「未来を創り、地域を活性化するアリーナ」

～夢を与え、感動を与え、未来を創っていく～

＜基本方針＞

（1）バスケットボールを中心としたスポーツ興行を開催する「観せる」施設

（2）各種コンサート、コンベンション等を開催する「使いやすい」施設

（3）観客満足度を高め、より多くの事業主体に利用される1万人規模の施設

2. 基本方針

(1)バスケットボールを中心としたスポーツ興行を開催する「観せる」施設

近年盛り上がりをみせているプロバスケットボールの琉球ゴールデンキングスを中心に、フットサル等屋内スポーツ興行に対応した諸機能、付帯設備を整備し、臨場感あふれる施設創りを行うことで、「観せる」スポーツ空間として新たな需要喚起につながる施設整備を目指す。

さらに、プロスポーツ以外のスポーツコンベンション（各種競技会、大会等）の開催についても、選手や関係者に臨場感あふれる観戦環境をもって対応し、質の高い競技環境を提供できる施設とする。

（2）各種コンサート、コンベンション等を開催する「使いやすい」施設

スポーツ興行以外の利用も視野に、多目的に利用できる土間床をベースとする等、MICE や各種コンサート等の開催にも対応する施設とする。

このため、照明・音響等は過度な設備を配置せず、用途に応じて音響設備や舞台装置等の設備、機材を設置できる設計とするなど、コンサート、ショービジネスにも対応可能な施設づくりを行うものとする。

また、多様な主体に対応するユニバーサルデザイン、アリーナの周辺環境への配慮などにより、多用途に使いやすい施設整備とする。

（3）観客満足度を高め、より多くの事業主体に利用される1万人規模の施設

アクセス利便性、多様な交通体系（駐車場、バス等）の整備、十分な情報インフラの整備、多言語対応等を行い、国内外からの観客が快適に利用できるように対応し観客の満足度を高めることが重要であり、VIP ルームやレストランスペース等、多様な観戦スタイルの提供も視野に、観客が楽しめる要素を増やしていく事が求められる。

さらに、沖縄市多目的アリーナの規模を１万人とすることで、プロバスケットボールをはじめとするスポーツ興行や、同規模の施設が無かった事により開催が見合されていた大型コンサートのアリーナツアーなど、新たな需要喚起が見込まれる。このため、施設の利用料だけでなく会場予約等への柔軟な対応など、より多くの興行主体が利用しやすい施設とし、サービスの向上を図り、観客満足度及び稼働率の向上に繋げ、地域に経済的波及効果をもたらしていく施設とする。